

1. 2. 2023年6月麻雀部活動報告

省略

3. 高野山でボタニーベイ

1年前の7月に88番札所大窪寺に到達し、10月に再び1番札所霊山寺まで歩いた続きとして、5月に高野山まで歩いてきました。

北の麓から高野山へは三つの道があります。東の黒河道、西の町石道、さらに西の三谷坂、これは町石道に合流します。で自分が選んだのは、三谷坂・町石道ルート。

まずは丹生酒殿神社に参拝し、本日の安全を祈願。登りの道には、笠石、経文岩、涙石などがあり、それぞれ謂れが書いてあります。町石道に合流する六本杉で小休止していたところ、町石道本流から登ってきた女性、休みもせず歩き続けます。若さですね、二度と追いつけませんでした。

白蛇岩の先、突然に13番ホールティーグラウンド、池越えの緊張するホール。え、なんでここにゴルフ場。しばらくはゴルフ場との境界の道を歩きました。

山道から一般道に出ると矢立茶屋。最後の登りの前に一息つくところ。弘法大師がここで矢立を開き日誌を書いたんだそうです。

さあ、あと登り200メートル。一町(109m)ごとの石をペースメーカーにしますが、ところどころ欠けています。文字も昔の行書もあれば、最近据えられた楷書もありました。ぜいぜい歩いて最後の急登を経て大門到着。立派な門。

金堂、根本大塔を経て、金剛峯寺で半年ぶりに般若心経を唱え御朱印。さらに奥の院まで行って拝んで御朱印。

奥の院まで大急ぎで行ったのは、潜水艦イ34号の慰霊塔を探すため。ネット情報でその存在は確認できましたが、場所情報はなし。納経所の方は業務仕舞いの多忙の中、親切に対応してくれ、細かな地図から見つけ出してくれました。

その近くまで行って、探して、戻って、行って、探して、ようやく見つけました。団員Oさんのお父上がこの潜水艦の乗組員で、マレーシア、ペナン沖で沈没し、お骨も上がってないので、この慰霊碑だけが唯一の物理的遺物とのこと。線香を手向け祈りました。刻まれた文字は、伊號第三十四潜水艦奮戦供養。

7-8年前に遍路とは無関係に高野山に来た時は宿坊に泊まったので、今回はゲストハウスにしました。外国人が8割くらい。陽気で騒がしいアメリカ人グループ5人、やや控えめなオーストラリア人4人、日本人2-3人など。

この豪州人グループ、シドニーというので「ボタニーベイを知ってますか」と聞いたら、「もちろん」。♪Farewell to old England forever...と歌い出したところ、小さな合唱になりました。自分が3番で詰まっても、彼らは歌い続けました。いやー縁は奇なもの。

ところで、88箇所を参ると「結願」、高野山に行くと「満願」だそうです。麻雀の「満貫」ではありません、念のため。(山路永司)

